

第3次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、当該年度の事業(おもな取組)の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

基本目標1  
安心・安全の地域づくり

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし  
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標①	年度	目標値	実績値	桐生市	令和2年度					
								令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
1-1 福祉サービスなどの整備・充実	①	住民ニーズに合わせた基盤整備	フードバンク桐生への食料品提供件数 単位:件	R2	160	194	総評	A 目標値を超え、122%の実績となった。企業との協定も1件結ぶことができ累計6件となった。今後も提供件数は増加していくと考えられる。(福祉課)					
				R3	170								
				R4	180								
				R5	190								
	②	サービスの質の確保	自立相談支援プラン作成件数中、一般就労達成率 単位:%	R2	23	25	総評	B 新型コロナウイルスの状況により、必須であったプラン作成が緩和され、作成数が28件となった。一般就労達成件数は7件であったため、実績値は25%(7/28)となり目標値より上回った。(福祉課)					
				R3	26								
				R4	28								
				R5	30								
1-2 適切な福祉情報の提供	①	情報提供の充実	福祉サービス等の周知	R2			総評	C 「広報きりゅう」及びホームページを活用し、市民に広く福祉サービス情報を発信・提供した。(福祉課)					
				R3									
				R4									
				R5									
	②	計画の周知	地域福祉計画・地域福祉活動計画の周知	R2			総評	C 第3次計画を、公民館等市有施設に配置し、周知を図った。「生き生き市役所出前講座」に登録した。(福祉課)					
				R3									
				R4									
				R5									
1-3 活動拠点としての施設活用	①	集いの場づくりへの支援	子ども食堂の実施箇所数 単位:か所	R2	4	1	総評	D 新型コロナウイルス感染症の影響により子ども食堂を実施できない団体があった。(子育て相談課)					
				R3	4								
				R4	5								
			R5	5									
			R6	6									
			子ども学習支援の実施箇所数 単位:か所	R2	5	4							総評
	R3	6											
	R4	6											
	R5	7											
	R6	7											
	②	活動情報の提供	高齢者憩いの施設の周知	R2			総評	C 高齢者の憩いの施設として、長寿センター等高齢者福祉施設の紹介を高齢者福祉ガイドやホームページ等で周知している。(R2年度は感染拡大防止対策のため全館休館)(健康長寿課)					
				R3									
R4													
R5													
R6													

第3次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、当該年度の事業(おもな取組)の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

基本目標1  
安心・安全の地域づくり

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし  
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標①	年度	目標値	実績値	桐生市	令和2年度					
								令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1-4 健康の推進予	①	介護予防の普及啓発	介護予防教室実施回数 単位:回	R2	113	82	評価	D					
				R3	113		総評	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、警戒度をふまえた教室実施となったため、中断・中止となるコースがあった。外出自粛下によるフレイル予防の普及啓発に努めた。(健康長寿課)					
				R4	113								
				R5	113								
				R6	113								
				1-5 災害時などの支援協力体制	①	災害時避難行動要支援者名簿の活用	個別プラン作成 災害時避難行動要支援者名簿登録希望者数 単位:件	R2			評価	C	
R3			総評					防災・危機管理課、健康長寿課及び福祉課並びに民生委員、社会福祉協議会と連携し、要支援者名簿を活用した個別プランの作成については、コロナ禍においてほぼ実施できなかった。(福祉課、防災・危機管理課)					
R4													
R5													
R6													
R2	300	210	総評					対象者1193人に対して希望者数210人、割合にして17.6%の希望率となった。新型コロナウイルスの影響によって、未回答者への訪問が行えなかったことが要因として考えられる。(福祉課)					
R3	300												
R4	300												
R5	300												
R6	300												
②	連携・災害時の体制づくり	地域との体制整備 社会福祉法人等との体制 福祉課、社会福祉協議会、地域包括支援センター、地区担当民生委員での区ごとの避難行動要支援者名簿情報共有 単位:回	R2				評価	C					
			R3				総評	自主防災組織や自治会に対して、防災に関する出前講座や避難訓練の際に、高齢者等の災害時の支援について、地域ぐるみで活動できる体制を啓発している。(防災・危機管理課)					
			R4										
			R5										
			R6										
			R2			総評	15法人との協定に基づき、避難行動要支援者が有事の際、状況に応じて利用できる福祉避難所として63施設を確保している。R2、各対象施設に感染防止用備品を配備(健康長寿課)						
R3													
R4													
R5													
R6													
R2			総評	社会福祉協議会、地区担当民生委員へ避難行動要支援者名簿の提供を行い、避難行動要支援者の情報共有を図った。(福祉課)									
R3													
R4													
R5													
R6													

※目標値・実績値は数値化が可能なもののみ。

第3次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、当該年度の事業(おもな取組)の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

基本目標 2  
 支え合いの仕組みづくり

A:大きく推進した      B:推進した      C:変化なし  
 D:後退した      E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標①	年度	目標値	実績値	桐生市	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談支援体制の充実	①	相談支援拠点の整備	地域包括支援センター相談件数	R2	14000	22434	評価	A				
				R3	20000		総評	初期段階での相談対応及び継続的・専門的な相談支援、その実施に当たって必要となるネットワークの構築や地域の高齢者の実態の把握を行った。(健康長寿課)				
				R4	20000							
				R5	20000							
			単位:件	R6	20000							
			家庭児童相談相談件数	R2	1500	1340	評価	B				
				R3	1500		総評	子ども家庭総合相談支援拠点と子育て世代包括支援センターが一つの課となり、連携体制が強化された。(子育て相談課)				
				R4	1600							
				R5	1600							
			単位:件	R6	1600							
			制度に向けた連携	R2			評価	A				
				R3			総評	統括コーディネーター制度について、社会福祉協議会と連携を図り、断らない相談体制に向けて推進した。(福祉課)				
				R4								
				R5								
単位:件	R6											
障害者基幹型相談室相談及び支援件数	R2	2000	2220	評価	C							
	R3	2000		総評	障害者基幹型相談室を福祉課内に設置し、障害に対する総合相談を行っている。(福祉課)							
	R4	2000										
	R5	2000										
単位:件	R6	2000										
②	連携・協力	協議した回数	R2	15	10	評価	B					
			R3	15		総評	断らない相談窓口の設置に向け、庁内で組織する各課コーディネーター及び社会福祉協議会にて制度を推進した。(福祉課)					
			R4	15								
			R5	15								
			単位:回	R6	15							
2-2 地域における権利擁護の推進	①	体制整備・情報発信	中核機関の設置	R2	1	0	評価	C				
				R3	1		総評	関係機関と情報交換を行い、現状について再確認を行った。今後は、中核機関の設置に向けて取り組みたい。(健康長寿課)				
				R4	1							
				R5	1							
			単位:	R6	1							
			制度周知	R2			評価	C				
				R3			総評	窓口や相談員により、障害者や家族に対してパンフレット配布を行い、制度の周知に努めた。(福祉課)				
				R4								
				R5								
			単位:	R6								

第3次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、当該年度の事業(おもな取組)の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

基本目標 2  
 支え合いの仕組みづくり

A:大きく推進した      B:推進した      C:変化なし  
 D:後退した      E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標①	年度	目標値	実績値	桐生市	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
								評価					
地域における権利擁護の推進	②	制度の利用促進	市長申立の件数	R2	7	4	総評	B 本人の権利を守るために必要と判断されるサービスを契約することができ、日常生活支援上の支援を図ることができた。(健康長寿課)					
				R3	5								
				R4	5								
				R5	5								
			単位:件	R6	5								
			市長申立の件数	R2	1	1	総評						C 成年後見制度利用支援事業を継続して実施。(福祉課)
	R3	1											
	R4	1											
	R5	1											
	単位:件	R6	1										
	住民同士地域でのつながり、生活の充実、住み慣	①	交流の支援	交流の支援	R2			総評	C 高齢者サロン等の通いの場の充実に向けた取組については、当初予定していたリハ職派遣等の事業が新型コロナの影響により中止を余儀なくされた。(健康長寿課)				
					R3								
R4													
R5													
②		団体との連携	団体との連携	団体との連携	R2			総評	B 令和4年度の再犯防止推進計画作成に向けて、更生保護団体と連携し、準備をすすめた。(福祉課)				
					R3								
					R4								
					R5								
地域全体によるネットワークの推進		①	社会福祉法人との連携	社会福祉法人と連携した地域づくり	R2			総評	A 一部の地域で実施されている買い物支援ツアー(地域の社会福祉法人が空き車両を提供)は、新型コロナの影響等により未実施となった。(健康長寿課)				
					R3								
					R4								
					R5								
	②	体制整備	地域支え合い推進協議体の設置数	地域支え合い推進協議体の設置数	R2	20	6	総評	C 20の第2層協議体の設置を目指しているが新型コロナの影響等により新たな協議体の設置はなかった。今後も未設置圏域における新規設置を重点的に進めていきたい。(健康長寿課)				
					R3	20							
					R4	20							
					R5	20							
	単位:箇所	R6	20										

第3次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、当該年度の事業(おもな取組)の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

基本目標 2  
支え合いの仕組みづくり

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし  
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標①	年度	目標値	実績値	桐生市	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2-4 地域全体によるネットワークの推進	②	体制整備	ネットワークの強化	R2			総評	子ども家庭総合支援拠点を中心に関係機関とのネットワークが強化された。(子育て相談課)				
				R3								
				R4								
				R5								
			単位:	R6								
			解決に向けての協議	R2			総評	R2年度はコロナウイルス感染拡大防止のため中止した会議もあったが、書面開催等実施し、地域課題の抽出や解決に向けての協議を行った。(福祉課)				
				R3								
				R4								
R5												
単位:	R6											
2-5 ネットワークによる支援が必要な人の把握とその支援体制の整備	①	支援体制の構築	地域包括支援センター相談件数	R2	14000	22434	総評	地域包括支援センターに寄せられる相談について、多職種・多機関・多分野横断的な相談支援を行える連携を心掛けた。(健康長寿課)				
				R3	20000							
				R4	20000							
				R5	20000							
			単位:件	R6	20000							
			制度に向けた連携	R2			総評	断らない相談窓口の設置に向け、庁内で組織する各課コーディネーター及び社会福祉協議会にて制度を推進した。(福祉課)				
				R3								
				R4								
	R5											
	単位:	R6										
	基幹型相談室の相談及び支援件数	R2	2000	2220	総評	障害者基幹型相談室を福祉課内に設置し、相談支援専門員が障害者の困りごと等の相談を受けている。多機関とも連携し、総合的な相談支援が行えるよう努めた。(福祉課)						
		R3	2000									
		R4	2000									
		R5	2000									
	単位:件	R6	2000									
	②	必要な情報の提供	地域ケア会議の開催件数	R2	50	64	総評	処遇困難ケース検討型、自立支援型、地域課題検討型それぞれの地域ケア会議を積み重ね、情報交換の場を設けた。(健康長寿課)				
R3				60								
R4				60								
R5				60								
単位:件			R6	60								
個別支援会議の開催件数および各関係機関との連絡調整件数			R2	1000	1001	総評	基幹型相談室にて障害者の困りごと等の相談を受け、必要に応じて各関係機関と連携を取ることができた。(福祉課)					
			R3	1000								
			R4	1000								
	R5	1000										
単位:件	R6	1000										

※目標値・実績値は数値化が可能なもののみ。



第3次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、当該年度の事業(おもな取組)の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

基本目標 3  
地域を支える  
人づくり・活動の促進

A:大きく推進した      B:推進した      C:変化なし  
D:後退した      E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す 主な指標①	年度	目標値	実績値	桐生市	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3-1 の地 た域 め福 の祉 協推 働進	①	協働の場づくり	関係相談機関との 協働	R2			評価 総評	B 福祉関係の相談機関及び社 会福祉協議会との連携を 図った。				
				R3								
				R4								
				R5								
				R6								
				単位:								
3-2 市民 活動 の推 進	①	活動の支援	市民活動推進セン ター「ゆい」にて 支援した市民活動 等の事業数	R2	102	46	評価 総評	B 新型コロナウイルス感染症の 影響が大きかったが、密の回 避など工夫をしながら事業を 推進できた。(地域づくり課)				
				R3	108							
				R4	114							
				R5	120							
				R6	120							
				単位:事業								
	②	情報提供	「ゆいねっと」の情 報発信数	R2	121	36	評価 総評	B 新型コロナウイルスの影響に より、情報発信数の目標値に 達しなかったものの、SNSの 活用など新たな取組みを開 始した。 (地域づくり課)				
				R3	133							
				R4	146							
				R5	160							
				R6	160							
				単位:回								
3-3 福祉 教育 の推 進	①	学校教育との連携	小・中学校で福祉 教育に取り組む。	R2	27	27	評価 総評	A 小・中学校で各教科等を通じて 福祉教育に取り組んでいる。小 学4年生は、総合的な学習の時 間に福祉に関する題材を設定し て学習することができた。(学校 教育課)				
				R3	27							
				R4	26							
				R5	26							
				R6	26							
				単位:校								
	②	体験学習機会の提 供	生き生き市役所出 前講座の地域福祉 計画講座開催数	R2	5	0	評価 総評	C 地域福祉計画について「生き 生き市役所出前講座」登録準 備を進めた。(福祉課)				
				R3	5							
				R4	5							
				R5	5							
				R6	5							
				単位:回								
		生き生き市役所出 前講座の福祉教育 関連講座開催数	R2	50	16	評価 総評	D コロナ禍により開催数が大き く減少(生涯学習課)					
			R3	50								
			R4	55								
			R5	55								
			R6	55								
			単位:回									

第3次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、当該年度の事業(おもな取組)の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

基本目標 3  
地域を支える  
人づくり・活動の促進

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし  
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す 主な指標①	年度	目標値	実績値	桐生市	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
福祉教育の推進	②	体験学習機会の提供	認知症サポーター養成数累計	R2	16000	16658	評価	D						
				R3	17700		総評	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、出前講座の依頼は例年より減少し、養成数は激減したが、オンライン研修の導入や十分な感染対策のもと、年1回の市民向け養成講座などに取り組んだ。(健康長寿課)						
				R4	18400									
				R5	19100									
			R6	19800										
			単位:人											
			生き生き市役所出前講座開催数	R2	1	4	評価	B						
				R3	1		総評	出前講座として高校生に対し沐浴実習・妊婦体験を行い、福祉教育を推進した。(子育て相談課)						
				R4	1									
				R5	1									
			R6	1										
			単位:回											
小学校での手話体験教室の開催	R2	17	13	評価	C									
	R3	17		総評	市内小学校(コロナウイルス感染拡大により4校中止)にて手話体験教室を行い、児童に対し手話を体験する機会の提供を行うことができた。(福祉課)									
	R4	17												
	R5	17												
R6	17													
単位:校														
地域の人材育成	①	担い手の発掘・養成及び情報発信	介護予防サポーター養成人数	R2	20	0	評価	D						
				R3	20		総評	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、養成研修中止。また、介護予防サポーターを対象としたフォローアップ研修も中止。代替方法として、介護予防サポーター向けに情報発信を行った。(健康長寿課)						
				R4	30									
				R5	30									
			R6	30										
			単位:人											
			手話・要約筆記・点訳・朗読など各種奉仕員や精神保健福祉ボランティアの養成人数	R2	73	14	評価	C						
				R3	73		総評	精神保健福祉ボランティア養成講座をみどり市と共同にて開催した。手話・点訳・朗読・要約筆記講習会はコロナウイルス感染拡大防止のため全講座中止となった。(福祉課)						
				R4	73									
				R5	73									
R6	73													
単位:人														

※目標値・実績値は数値化が可能なもののみ。